



駅を華やかに

備後西城駅イルミネーション点灯・12/4～

No.2

備後西城駅にイルミネーションが設置され、色鮮やかな光が駅利用者を出迎えました。

このイルミネーションは、西城町観光協会と地域のボランティアが協力し、企画・設置されました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、点灯式などは開催されませんでした。冬の澄んだ空気の中で、雪とともに光り輝くイルミネーションの光に、駅利用者は足を止め美しい光景を楽しんでいました。

同協会事務局の岡崎優子さんは「多くの人に喜んでもらえてうれしい。今後もより多くの人に楽しんでもらえるような企画を考えていきたい」と話しました。



▲イルミネーションで飾られた駅入り口

カフェ気分でリラックス

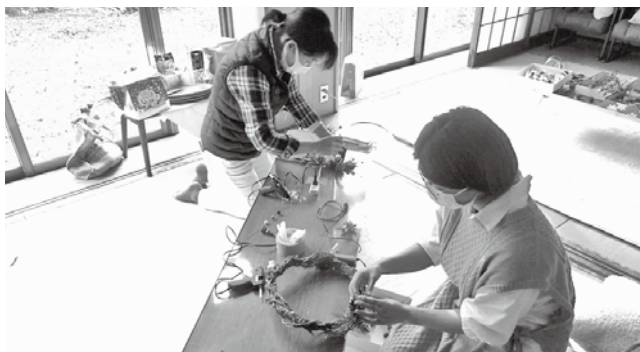
のんびりママサロン・12/23

No.4

総領自治振興センターで「のんびりママサロン」が開催されました。このサロンは、子育て世代の母親が、子ども連れで参加できるカフェサロンで、昨年10月から月1回行われています。「ゆったり ゆっくりリラックス」をテーマに、「親子一緒にカフェに行くような気分で、気軽に立ち寄れるくつろぎ空間を作りたい」という思いで始まりました。

今回は、クリスマスリースを作ったり、お茶を飲んだりしながら、子育てトークを楽しみました。

参加者は「子連れでゆっくりできるお店はなかなかないので、子どもを遊ばせながら話ができる場所はありがたい」と話しました。



▲クリスマスリース作りの様子

合格を願い

お守り贈呈・1/18

No.1

〇和自治振興区から〇和中3年生9人へ、高校受験合格祈願のお守りとして葉が贈呈されました。

この葉は、釜峰神社付近に自生している「ヤマコウバシ」の枝付きの葉を使い、同振興区の皆さんが手作りしました。完成したものは多加意加美神社で合格祈願され、受験生のこれまでの努力が実るようにとの思いが込められています。

〇和自治振興区の清水孝清区長は「このヤマコウバシの葉は、冬も枝に付いたままで、落ちることはありません。春に花が咲き、新芽が出た後に入れ替わるため『落ちない葉っぱ』といわれています。高校受験に向けて頑張ってください」とエールを送りました。



▲清水区長（左）から〇和中の中重秋登校長へ葉が手渡された

残していきたい里山の知恵

比和の里山文化デジタルデータ化事業・12/23

No.3

比和自治振興区は、地域の伝統文化などをデジタルデータ化して後世に残す活動を行っています。その一つとして、みのお炭窯ハウスで「炭焼き」の取材が行われました。

かつて、炭焼きは比和町で盛んに行われていた産業でしたが、生活様式の変化などで需要が減り、町内で作業を行っている人はごくわずかとなっています。しかし、使用する原木を切り出すことは山の手入れにもなると考え、平成14年から住民の手で炭窯ハウスを新調し、年3回程度炭焼きを行っています。

先人から受け継いできた技術を途絶えさせないためにも、今回取材した内容は、多くの人に興味・関心を持ってもらえるよう情報発信に活用される予定です。



▲炭焼き作業をビデオカメラで撮影